

NUMAZU JAPAN CHARTERD, 1967

沼津ワイズメンズクラブ

事務局 〒410-0022沼津市大岡下石田1428-1 沼津YMCAセンター内

2017年 2月 THE Y'S MEN'S CLUB OF NUMAZU

国際会長 主題 Joan Wilson (カナダ) "Our Future Begins Today.「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア会長 主題 Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) "For the Future, Act Today!" 「明日に向かって、今日動こう」

富士山部長 主題 増田 隆 (富士クラブ) 「富士山のように大きな心で奉仕をしよう」

クラブ会長 主題 渡邉 実帆 「温故知新 そして躍動」

今月の聖句

「すべてのことが許されている。」しかし、すべてのことが益になるわけではない。 「すべてのことが許されている。」しかし、すべてのことが私達を造り上げるわけではない。 だれでも、自分の利益ではなく他人の利益を追い求めなさい。



コリントの信徒への手紙一 10章23節~24節



50周年記念例会

☆2月18日 (土) ☆ ニューウエルサンピア沼津

第1部 11:00~

開会点鐘 会 長

開会挨拶 長谷川 等Y's

ワイズ信条&ソング 菅沼道子Y's

会長挨拶 会 長

来實紹介 会長

入 会 式 杉谷美砂さん 進行:長谷川Y's

記念事業発表 スピーチコンテスト1&2位

DBCクラブ記念品贈呈<彦根C・京都トップスC>

閉会挨拶 大村Y's

閉会点鐘 会 長

第2部 12:00~記念講演 山梨YMCA 大澤英二様

第3部 13:00~懇親会 15:00 終了予定

February

♪ HAPPY BIRTHDAY ♪

2月 2日 中田成 Y's

2月13日 山野延子メネット

♪Happy Wedding

Anniversary >

該当者ありません

「一富士・二鷹・三茄子」

初夢にみると縁起の良いと言われている「一富士・二鷹・三茄子」の由来は、 実は沼津にあった!?一は富士山、二は愛鷹山(足高山)、三は江戸時代 大変高価だった早採りの香貫茄子の事!?徳川家康が、この初茄子の値 段はいくらかと問い、そのあまりの値段の高さに驚き、「価の高きを言わんとて、ま ず第一に高き富士なり。その次は足高山(愛鷹山)なり。その次は初茄子な りと言ったといわれています。

香貫の茄子畑(沼津御用邸付近)から愛鷹山を見てその後方にそびえ立つ富士山を眺めながら徳川家康が言った事ではないかと思われます。

北に霊峰富士を仰ぎ、南に駿河湾を抱くこの沼津、

縁起のよいまち「沼津」です!



50周年特別号 『メンバーのひとこと』 (50名順)









「50周年を迎えてそして」

相磯 優子

沼津クラブに入会して十数年。二度目の周年を迎えます。前回は40周年。会長職にはあるものの、弱

冠3年生。記念例会にむけての様々な準備、段取りは全て諸先輩方が取り仕切って下さいました。そして10年後の今回は微力ながら、それらの一翼を担う立場におります。この10年という時間は少しのワイズ理解と多くの東西のワイズメン・メネットとの出会いと交流という財産を与えてくれました。感謝しつつこれから与えられたものをいかにお返しできるか?次の10年に向けて自分に問いていきたいと思います。

「ワイズに感謝」

稲田 精治

沼津クラブに入会して40年、「ワイズメンの信条」を僅かではあるが実践できたことに感謝する。地下道清掃や公園のペンキ塗り、サイクルスポーツセンター招待や夏冬のキャンプ、韓国清州西原クラブとの交流やイン



ド・トリバンドラムYMCAへの支援、中国吉林省への車椅子贈呈、熱海YMCAのNPO法人化に取り組むなど、事業活動を楽しみ、多くを学ぶことができた。クラブ会長や富士山部長、東に日本区国内担当事業主任を通してメンバーとの交流が深まり、ユースインターンとして長女が国際本部に派遣されるなど家族とともに参加できたことに感謝している。

大村 貴之



いよいよ、沼津クラブの50周年記念例会を迎えることとなり、ドキドキ・ワクワク(部分的にはヒヤヒヤ)しています。準備が万全かというと自信はありませんが、遠方より多くのワイズの仲間・諸先輩が来てくださる、それだけで充分に成功なのだと信じ、目の前の課題や作

業に取り組んできました。コメットとして関わってきたクラブの節目の周年に立ち会えることに感謝して、楽しいひと時を過ごし、歴史に思いを馳せ、未来のこと(もちろん沼津での区大会も)へのイメージを膨らませたいと思います。

「ワイズの信条を心に」

小林 隆

2002年2月、稲田ワイズに手を引かれて入会しました。光陰矢のごとしの15年、チャーターメンバーの青木さん、高橋さん、中田ワイズ、大村俊之ワイズの教えを受けて活動してきました。今、50周年を迎え感じることは、チャーターメンバーから授かったワイズ信条です。特に、クラブ例会で毎回唱和しているワイズの信条「青少年のためにYMCAに尽くそう」です。創立50周年は、お祭りではありません。「ワイズの信条を心に刻む、新たなチャーターの日」にしたいと思っています。100周年に向け、ワイズの信条を心に・・・



今は消滅してしまった湯河原クラブに在籍していた友達から、ワイズに入らないかって誘われ、何をしている団体なのかもわからず入会。でも過ぎ去り日の冊子を見ると30周年例会の集合写真にも写っていたり、色々な行事に参加していた足跡が残っていまし



た。楽しい思い出・嫌な思い出、振り返ると絵巻物を開いているように過ぎ去り日が思い出されます。思い出は50周年で終わるのではありません。あと何年になるかわかりませんが、他クラブのメンバーの友と沢山の思い出作りをしたいと思っております。言葉も態度も悪い私ですが、あの野郎ってことで勘弁して下さい、感謝・・・。

「50周年に思う」

大山 晴康

私が ワイズメンズクラブに入会したのは、1971年でした。 思えば、中田成さんの会社で、明治学院同窓会静岡

県東部支部の会員のメンバーの一員として、入会の説明会に参加したのが、クラブとの出会いでした。45年間の月日に貴重な経験をさせていただき、私の人生の一部として心に残る事柄が多くありました。ワイズメンとして皆様にお会い出来て、50周年を迎えられましたことを感謝しております。



片岡 章一



ボランティア精神のもと様々な社会事業活動に貢献されてきた諸先輩方に敬意を表します。そして、50年の節目に私も居合わせていただくことにうれしく思っております。

少子高齢化社会の中でこれまでの活動が今後ますます 社会に必要になってくることは確かであり、活動の精神を理解し行動でき、目的に向かって連帯を強めていく事が大事 であると思っております。与えていただいた職責を全うしなが ら、どのように社会貢献していくのか、次の50年に向けて改 めて考えていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



50周年特別号 『メンバーのひとこと』

中田成&中田清子



沼津の地にワイズメンズクラブが誕生して半世紀。五十年の歴史を振り返るとき、ナント! 二人は若かった!!成は39歳。私は33歳でした。とにかくクラブを成長させる為に数々の計画を立てて、そしてクラブメンバーが楽しんで皆で地域に奉仕が出来るようにと頑張りました。この度成長した沼津クラブが50周年の式典を迎えることが出来て心より嬉しく思います。老いの身の二人は皆様のご活躍を祈ります。



「50周年をむかえて」 菅沼 道子

まずこのような節目に在籍できていることに本当にうれしく思います。入会して約15年がたちますが、この間でもいろいろ

なことがありました。それを考えると、この50 年という月日を支えていただいた先輩方 に心から感謝申し上げます。ワイズ活動 を通して、いろいろ学び、人との交流は人 生の貴重な財産です。これからは、次の 世代へワイズ精神、人生の糧なるものを



継承できるようひとつひとつ取り組んでいきたいと思います。

山野 弘



私が入会した当時、中田ワイズ、大村ワイズ、そして他界された青木、高浦ワイズと共に労力の一団となり、函南町の山林伐採(キャンプ場造成)及び御殿場市の神山教会などの奉仕作業に汗を流した思い出が有ります。一番の思い出は毎年夏が近づくと

東山荘のプール清掃、キャンプテント設営、お昼の炊き出しを仲間と共に頂いたこと、あの汗は私の宝になっています。 私は高橋ワイズのBFファンドの後を引き継ぎ、少しでも追いつこうと努力しております。焦らず目の前の各事業をメンバーともども頑張ります。

「沼津ワイズメンズクラブ50周年に思う」 渡辺周

沼津クラブ会員となって間もなく青木栄美さんから「平和を! 切手が叫ぶ悲しみの声」と題された2004年発行の著書を頂きました。ご自身の膨大な切手コレクションを「戦争への道 | 「ノーモア広島 | 「共に生



きる」などと時系列的に、世界の切手も色鮮やかにテーマごとに紹介されています。切手は雄弁にその時代の世相を伝え、著書は反戦平和非暴力を訴えます。米国大統領がむき出しの言葉で差別や憎悪を訴え、共生や多様性という価値が問われる今、ワイズの草の根の活動は絶対に必要と確信しています。

「50周年を迎えて」

長谷川 等

記憶にあるはずの50年前、記憶が消えて当時のことをなかなか思い出せない状態、中田さんとは、チャータナ小等のことでそのつど相談した記憶があり、タイムマシンを戻しております。明日の沼津ワイズメンズクラ



ブ、早い時期に世代交代をし、兵は消え去るのみと願っております。この50年間、私を支えてくれたのは、YMCAとワイズメンズクラブの人たちでした。感謝・感謝!

「創立50周年に寄せて」 平野正文

縁あって私が沼津ワイズメンズクラブのメンバーになって38年の月日が流れました。活動のことが何もわからない20代半ばの青年も先輩方そして仲間の皆さんの



おかげで今日を迎えることができました。只々感謝の気持ちで一杯です。青少年そして地域社会のためにコツコツ貢献するという初心を忘れずに、無理せず体力の続く限りこの活動に参加していこうと思います。今後とも宜しくお願い致します。

「これから・・・」

渡邉实帆

2004年5月に沼津クラブに入会後すぐに40周年があり、その時は言われることだけをやっていましたが、それから10年後の50年という節目の年に2度目の会長職、少し前には部の主査をさせていただき、ようやく、ようやくです・・ワイズの活動がわかってきた私。ボランティア活動の難しさを痛感しながら、でも動かねば始まらない。何のためにやっているのか、

何を目標にやっていくのか、いつも考えながら、前を向いて行きます。ボランティアと人生は楽しくなければ!!でも国内、国外に沢山の友人が出来たことが一番の財産。先輩方の思いを胸に、これからも頑張りたいと思っております。





報 告 2/4(土)~5(日) 第2回 東西日本区交流会(東山荘)3名参加

今後の予定 3/4(土)~5(日) 次期会長・役員研修会(東山荘)

3/14(火)3月例会 3/21(火)3月役員会YMCAセンター

新入会員 紹介



この度、沼津ワイズメンズクラブに入会させて頂きました杉谷美砂と申します。生まれは東京で父の小児科医院開業と共に沼津で幼少期から育ちました。加藤学園暁秀高校から北里大学の看護学部を卒業し、同大学病院小児病棟に勤務しました。現在は、沼津市役所健康づくり課で保健師として仕事をしております。今年度開設した"マミーズほっとステーションぬまづ"の母子保健コーディネーターを務めさせて頂いています。

趣味は幼い頃からクラシックバレエを習っていた事もあり体を動かすことが好きです。今はピラティスやヨガを楽しんでいます。また、ゴルフは初心者ではありますが、ワイズメンズ会長さんをはじめとし皆様と交流出来ることを楽しみにしております。ワイズメンズの一員として、微力ながらも社会貢献活動のお役に立てればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

1月例会報告 (3クラブ合同新年例会・部長公式訪問)



2017年最初の例会は、1月10(火)ニューウェルサンピア沼津にて開催されました。この例会は富士山部長公式訪問であり、沼津・三島・御殿場3クラブ合同での例会。今回は、沼津クラブがホストで、多くの方々に沼津に来ていただきました。合同例会の卓話は、SBS静岡放送ご出身で、SBS時代はテレビ番組のデルクターやラジオ番組の企画など、放送の第一線で幅広くご活躍され、

今年で開局20周年を迎えるコミュニティーラジオ局「FMみしま・かんなみ」代表取締役の杉山喜徳様にお願いしました。「常識を信ずることなかれ」という演題で、FM局の成り立ち(阪神震災後、防災機能の観点から全国で地域FM局が設立された経緯)や、通信インフラとしての同局の設備機能についてのお話もありましたが、メインの話題は日本語の「言葉遣い」「言葉選び」に関する様々なトリビアでした。ラジオは声だけで情報を伝えるメディアであり、普段当たり前に聞いているニュースや放送用語も、聞き間違いや誤認が起きにくい言葉を選ぶよう周到に検討されていること

を、分かりやすい例えで楽しくお話していただきました。それと同時に「日本語」も、時代と共に変化する(=元々は間違っていた読み方・用法・解釈も、使う人が増えて一般的になると「それで良い」と変わっていく)ことを実感しました。局の方は、これから開局20周年に向けた取り組みも始まるとのこと。今年1年、ボイスキューからの情報発信にも注目したいと思う、卓話でした。閉会も、3クラブ会長仲良く揃っての点鐘となり、新年を飾る賑やかな例会になりました。



ドライバーのつぶやき No.20

泉 文雄

今年に入り50周年例会の準備等慌ただしくなって来ています。少人数のクラブでの準備はやはり大変です。沼津クラブのメンバーはお客様ではありません。この呟きを書いている日にちは2月6日です。12日後に本番実行委員長としての本音を履くと、



もう少し動いていただけるメンバーが欲しかったなと言う事、仕事・私的な都合もあるでしょうが10年に1回節目の行事なのです。来年はもっと大変な行事を私たちクラブで開催しなければなりません。(東日本区大会)実行委員長も決まっております。周年行事が終われば、区大会の話が始まると思います。先頭に立つ人(実行委員長)の気持ちを全員が理解・協力・行動しなければ、何事も成功しないと思います。旗をふるのは簡単です。それにこたえなければ成功はあり得ません。

在籍者	17 名	スマイル	¥ 7,000
出席者	10 名	スマイル累計	¥ 85,500
ゲスト・ビジター	4 名	BF現金	¥ 0
メイキャップ	1 名	YMCA基金	¥ 0
功労会員	3 名	出 席 率	71%

編集後記: 今月は50周年記念例会特別号としてメンバーの「ひとこと」を特集しました。50周年を機に色々な事業も少しづつ 充実してきた感じです。50周年が終われば区大会の準備です。少ない人数で一致団結。勿論EMC一番に力を入れたいと思 います。新たな一歩を踏み出します。